

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社は、平成16年に「関西電力グループ経営ビジョン」を策定し、めざすべき企業像として「お客さま満足No.1企業」を掲げ、お客さまにご満足いただける最高のサービスをお届けするため、さまざまな事業活動に取り組んでまいりました。

この事業活動の基盤となるのは、社会のみなさまから賜わる信頼であります。当社は平成16年8月の美浜発電所3号機事故により、その信頼を大きく損なってしまいました。

当社は、昨年3月、国に提出いたしました「美浜発電所3号機事故 再発防止に係る行動計画」におきまして、「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」との社長宣言のもと、再発防止対策の確実な実施と安全文化の再構築を、社会のみなさまに固くお約束し、その達成に努めてまいりました。本年2月には、その実施状況と課題をとりまとめて公表し、3月には経済産業大臣から、当社の取組みについて、計画、実施、評価、改善の一連の活動が自律的に行われつつあるとの評価を頂いております。

今後とも、原子力発電の安全を確実なものとするとともに、社会のみなさまから再び信頼を賜わることができるよう、全社をあげて、安全最優先の事業運営体制の構築とCSR(企業の社会的責任)を軸とした組織風土の改革を推進してまいります。

一方で、現在、わが国経済、関西経済とも、いずれも本格的な景気回復基調にあり、今後とも堅調に推移することが予想されますが、エネルギー間競争の激化など、当社を取り巻く競争環境はますます厳しくなっております。

このような経営環境のもと、当社は、本年度を、持続的成長に向け、新たなステージへの転換期とすべく「平成18年度関西電力グループ経営計画」を策定いたしました。

具体的には、安全を最優先に、中長期的な視点に立った施策を展開することにより、お客さま価値の創造に努めることとし、「安全最優先の組織風土の醸成」、「グループ一体となったお客さま価値の創造」および「人の成長、技術力の向上」の3つをアクションプランといたしました。

経営層および全従業員一人ひとりが、常に安全確保を最優先に行動するのはもとより、設備保安に係わる品質マネジメントシステムを構築するなど、業務を適切かつ確実に実施するための仕組みづくりにも努めてまいります。また、業務の適正を確保するための体制、いわゆる内部統制システムについては、その基本方針を定めるとともに、リスクの評価や管理などを着実に進めることにより、実効性の高いものとするべく取り組んでまいります。

その上で、お客さまに最適なエネルギーサービスを提供する総合エネルギー事業をはじめ、情報通信、生活アメニティ、海外事業などの各事業を通じ、お客さまにとって、本当に価値ある商品、サービスをご提供することにより、お客さまと地域社会の発展に貢献するとともに、関西電力グループの持続的な成長をめざしてまいります。

さらに、すべての活動の原動力である人の成長、技術力の向上を図り、事業活動の基盤を確固たるものにしてまいります。

また、当社は、コーポレート・ガバナンスの一層の強化をめざし、本年の定時株主総会を経て、取締役数を削減し取締役会を活性化することにより、意思決定の迅速化および監督機能の強化を図るとともに、執行役員制を導入して業務執行の迅速性および効率性を高めてまいります。

当社はこのような取組みを通じまして、社会のみなさまからの信頼に支えられた「お客さま満足No.1企業」の実現に向けて、全力を傾注してまいります。

アクションプランで掲げた取組みを確実に遂行することにより、関西電力グループは、グループ一体となって持続的な成長を図りますが、一方で、成長を支える財務基盤の強化にも注力していかなければなりません。

そのため、財務体質強化のための指標として、連結株主資本比率および連結有利子負債残高の2つを掲げ、これを確実に達成することにより、財務体質の強化に取り組んでまいります。

連結株主資本比率	30%程度（平成19年度末目途）
連結有利子負債残高	3.0兆円程度（平成19年度末目途）

（2）利益配分の基本方針

当社は、長期的な視点に立って株主価値の増大をめざしてまいります。すなわち、競争時代にある電気事業において、安全の確保を最優先とした上で効率化を推進し、競争優位を確保できる料金水準を維持しつつ、財務体質の強化を図ってまいります。したがって、安定配当を維持しつつ、株主価値を持続的に向上させていくことを利益配分の基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、設備投資および財務体質の強化方策に充当してまいります。

なお、会社法施行後の配当支払い回数等につきましては、特段の変更は予定しておりません。

（3）親会社等に関する事項

当社は親会社等を有しておりません。